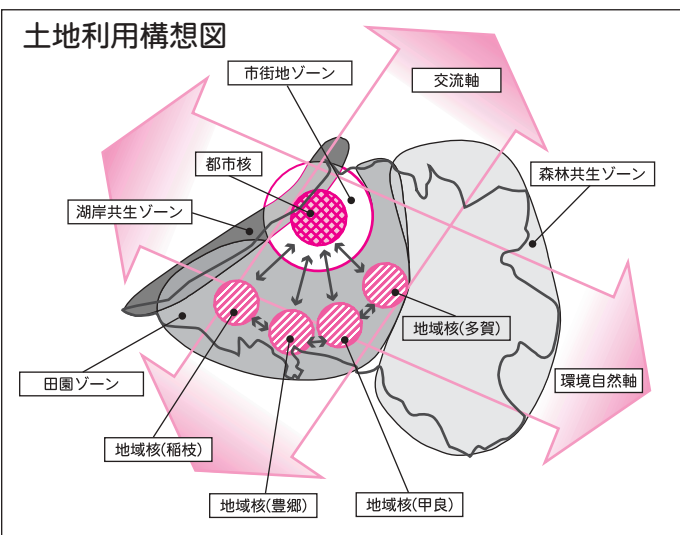


新市まちづくり計画の概要を お知らせします

彦根市・豊郷町・甲良町・多賀町合併協議会では、去る1月28日に開催された第18回合併協議会をもって、21項目すべての協定項目が確認されました。

また、合併後の新たなまちづくりの将来ビジョンを示し、新市のマスタープランの役割を担う「新市まちづくり計画（新市建設計画）」を策定しました。今後、合併した場合、新市まちづくり計画に掲げられた事業を、合併後の10年間にわたって、財政計画と調整しながら進めていくこととなります。

- ② 新市まちづくりの根幹となるべき事業に関する事項
 - ③ 公共的施設の統合整備に関する事項
 - ④ 新市の財政計画
- 計画の期間
平成17年度から同26年度までの10年間とします。



計画の趣旨
新市まちづくりを、総合的、効果的に進めることを目的に、合併市町の一体性の速やかな確立と、住民福祉の向上等を図り、新市の均衡のある発展に資することを旨とするものです。

計画の構成
① 新市まちづくりの基
本方針

新市の将来都市像

個性が響き合い 活力を生み出す
住み続けたいまち
「今、湖・まち・さと・山が
一つになる」

新市まちづくりの基本方向

- ① お互いを認め合う
人権尊重のまちづくり
- ② 個性豊かな人と文化を
育むまちづくり
- ③ 生き生き健康福祉のまちづくり
- ④ 伝統と自然が響き合う
産業活力のまちづくり
- ⑤ 住んで良かったまちづくり

地域別整備方針

ゾーン
新市を地形や機能に応じて、4つのゾーンに分類し、それぞれの特徴を生かした整備を進めます。

市街地ゾーン 新市における学術・文化・国際交流・福祉等の複合的な機能を高めるとともに、商工業振興を図るなど、産業活動が創出できる市街地としてのまちづくりを推進する。

湖岸共生ゾーン 琵琶湖のなごさの保全と併せて、緑化や公園化により、自然とのふれあいの場を創出する。

1つとして整備。また、農業の振興、文化財・伝統芸能を活かしたまちづくりを進める。

地域核(甲良) 農村の歴史文化の継承と住民主体の農村景観の整備。また、文化財・風俗習慣を活かしたまちづくりを進める。

地域核(多賀) 多賀大社周辺の観光商業拠点として整備。歴史文化、森林空間を活かしたまちづくりを進める。

地域核(稲枝) 農産物の生産振興と担い手の育成、また環境にやさ

しい農業振興と交流が促進できる駅周辺整備を進める。

新市まちづくり計画や、合併協議会で確認された合併協定項目の詳細については、広報ひこね(2月1日号)と同時に配布された、「新市まちづくり計画のあらまし」(合併協議会)より「特集号」をご覧ください。

問い合わせ先 両市町合併推進室
☎1411番内線414番 F
AX21398番

新市まちづくりの 重点プロジェクト(一部)

すくすく のびのび 子どもが育つ まちづくり
子育て支援施設の整備 新市に居住する0〜3歳までの子どもとその親を対象にした、子育て支援施設を整備し、各種事業を実施します。

保育サービスの充実 就労形態の多様化に対応できる保育メニューを用意するとともに、低年齢児保育の拡充や一時保育などのサービスを柔軟に導入します。また、新市の市立全幼稚園において、3歳児保育を実施します。

児童虐待への対策 各種健診・相談の中で虐待の予防、早期発見に努めるとともに、電話等で相談できる体制を整備します。

学校教育の充実 小中学校において、個に応じたきめ細かな指導を充実させ、柔軟な学習集団の編成に対応するために、新市独自の非常勤講師制度を導入します。

子どもを守る防犯体制の充実 低年齢化・凶悪化する少年犯罪を防止するとともに、子どもが犯罪に巻き込まれることがないように、市民、行政と関係機関が連携して、よりよい家庭・地域環境づくりや巡回・指導相談活動の充実を努めます。

人と環境にやさしい まちづくり

資源循環型社会の構築 ごみの減量化や再資源化などにより、資源循環型の社会を構築していくため、分別収集を徹底するとともに、関係機関との連携のもと、資源回収体制の整備に努め、新しい処理・再資源化施設の整備など、資源循環に向けた処理体制を充実します。

市民による環境保全活動の支援 市民の主体的な活動によるリサイクル運動やフリーマーケットなど、資源再利用への市民活動を支援します。

また、河川を美しくする活動などの自然保全活動を支援します。

環境学習の推進 市民や企業等の環境に対する正しい知識の取得や、環境に負荷の少ないライフスタイルの実現を啓発していくため、環境に関わる市民組織や大学等との連携により、市民が環境について学ぶ機会を整備するとともに、学校教育における環境学習の充実を図ります。

交流と活力を生み出す まちづくり

歴史文化資産の保全 新市が有する貴重な資源を交流人口の増大に結びつけていくため、城下町や宿場町(中山道)、門前町における歴史的な建築物の保全や歴史の香り高いまちなみ景観の修景・整備を行います。

地域内の連携の強化 新市を訪れた人々が1つの集客拠点にとどまらず、その活力を新市全体へと波及させていくため、鉄道やバスなどの公共交通機関や安全・快適な歩行者空間の整備など、観光・交流拠点を結ぶ交通網の充実・整備を進め、新市における回遊・周遊を促進します。

広域的な連携の強化 京阪神都市圏、中部都市圏と北陸方面を結ぶ要衝の地としての立地特性を活かして、より広い地域との交流を促進するため、国道・県道や主要幹線道路の整備を促進するとともに、関係機関との連携・協力により、鉄道やバスなど広域的な公共交通の利便性向上を図ります。

※事業が重複しているのは、市街地ゾーンと都市核の地域が重なる部分があるためです。

地域別の主要な施策(一部)

4つのゾーン

<p>市街地ゾーン 彦根駅東地区土地区画整理事業 近江鉄道彦根駅エレベーター設置事業 ペDESTリアンデッキ設置支援事業 彦根城域郭整備事業 学校等公共建物耐震補強事業 都市計画街路整備</p> <p>湖岸共生ゾーン 下水道(汚水・雨水)の整備促進 湖岸の保全・再生(県事業) 湖岸緑地公園の整備(県事業) 遊歩道等の整備</p>	<p>田園ゾーン 中山間地域活性化事業 鳥居本西部地区ほ場整備事業 特定農山村地域活性化基盤整備事業 通学路整備 農業集落排水施設の整備 集会所設置補助事業</p> <p>森林共生ゾーン 森林保全対策事業の推進 教育の森整備事業 芦谷ダム建設事業(県事業)</p>
---	--

都市核と地域核

<p>都市核 彦根駅東地区土地区画整理事業 交通バリアフリーの推進 彦根城域郭整備事業 中心市街地活性化事業 図書館の整備 武道館の整備</p>	<p>地域核(稲枝) 小学校校舎、体育館改築事業 JR稲枝駅改築と駅前広場の整備 農業基盤整備事業の推進 放課後児童対策室の設置 道路新設改良事業 県道の整備促進(県事業)</p>
---	---

核
彦根市の中心部を都市核、3町と稲枝地区を地域核とし、それぞれの地域の個性を生かした取り組みを進めます。

都市核 新市の玄関口として、商業、業務および居住機能等の高度化を図るとともに、地域の特性に応じた多様な都市機能を整備する。

地域核(豊郷) 医療・福祉の拠点の

軸
新市域の東西と、南北へのつながりを、それぞれ環境自然軸、交流軸とします。

環境自然軸 鈴鹿山系から琵琶湖岸まで、新市域を東西に横断する矢倉川、芹川、犬上川、宇曾川、愛知川等の河川を中心に人と自然の共生をテーマとした軸

交流軸 新市域を南北に縦断し、湖北・湖南地域を介して中京・北陸と京阪神につながる道路や鉄道等の交通網により、人が集い、交流することをテーマとした軸

田園ゾーン 農業振興や集落の快適な生活環境整備と併せて、祭り・伝統行事など集落自治の発展に向けた取り組みを促進する。

森林共生ゾーン 鈴鹿山系の山々の保全と併せて、野外学習や環境学習、スポーツ・レクリエーション拠点の整備を進める。